

おおぐち —ふれあいネットワーク— 社協だより

10月 **2011**
No. 76

社会福祉法人
大口町社会福祉協議会
〒480-0126
大口町伝右一丁目35番地
大口町健康文化センター2F
TEL (0587)94-0060 FAX 94-0059
IPhone 95-7202

E-mail:chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp http://www.oguchi-shakyo.or.jp

今年、支えあうことの大切さを知った。



赤い羽根共同募金は、
高齢者、障がい者、子どもたちなどへの、
地域の福祉活動を支援する募金です。
災害時には、「災害ボランティアセンター」の設置や
運営など、被災地支援にも役立っています。

10月1日～12月31日 **赤い羽根共同募金**

赤い羽根 携帯 www.akaihane.or.jp



東日本大震災では、赤い羽根のもとにたくさんの義援金が集まりました。ご協力ありがとうございました。



内 容

赤い羽根共同募金	1～3
社協事業報告・決算報告	4～6
大口子育て情報「ぎゅっと」	7
ボランティア情報局	8～9
介護豆知識	10
社協トピックス・伝言板	11～12

今年度の赤い羽根共同募金のポスターは
ご協力いただいた募金には「地域の福祉のため
に使われる」という意味で「じぶんの町を良く
するしくみ」と表現しています。



共同募金
赤い羽根募金

10月1日～12月31日



平成23年度 赤い羽根共同募金

募集期間：10月1日(土)～12月31日(土)

実施：大口町共同募金委員会

大口町伝右一丁目35番地(大口町社会福祉協議会内)

TEL 94-0060 FAX 94-0059

平成23年度 赤い羽根共同募金目標額

3,431,000円

愛ちゃん と 希望くん



内 訳

一 般 募 金 3,273,000円

歳末助け合い募金 158,000円

～地域の福祉、みんなで参加～

10月1日から12月31日まで赤い羽根共同募金運動が、「安心・安全なまちづくり支援～地域の安心・安全な暮らしを住民とともにつくる活動の支援」をテーマにスタートします。

大口町社会福祉協議会等の諸事業が、一つでも多くの事業が実施できるよう運動してまいります。町民の皆さまを始め町内企業様、協力団体様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

～ 赤い羽根共同募金はこれらの方法にて実施されます ～

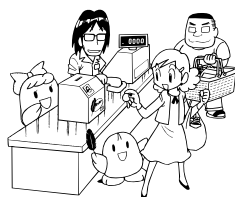
戸別募金

区長さんを通じ、各世帯にご協力をお願いしています。



職域・法人募金

町内店舗や町内企業等より、ご協力をお願いしています。



街頭募金

町民体育祭・町内3店舗にて、ご協力をお願いしています。



【平成22年度の募金実績報告】

3,112,071円

のご寄付をいただきました。
ご協力ありがとうございました。



※みなさまにご協力いただきました22年度募金により、23年度配分金を元に事業を実施しています。(抜粋)

地域福祉推進のために

729,303円

- ・ひとり親家庭入学支援事業
- ・郡社協まちづくり活動支援事業
- ・ボランティア養成講座等



おとしよりのために

500,000円

- ・敬老事業
- ・おせち料理配布事業
- ・介護豆知識の配布



障がいのある方のために

450,000円

- ・重度身体障がい者旅行
- ・福祉団体の活動助成
- ・在宅障がい児者支援
- ・障がい者スポーツ大会等



子どもたちのために

700,000円

- ・青少年等ボランティア福祉体験学習事業
- ・福祉実践教室
- ・赤ちゃん絵本プレゼント事業



歳末たすけあいに

149,768円

- ・地域貸出用備品整備事業



その他

愛知県内広域福祉のために
426,000円

共同募金運動推進のために
157,000円

共同募金への寄付は、税制上の優遇措置があります。

共同募金会は、税制上、国と地方公共団体と同じように、『寄付に関する優遇措置の団体』になっています。その優遇措置は、下記をご覧ください。

個人からの寄付

- 所得税の寄付金控除額・・・寄付金額（年間所得の40%を限度とする）－2,000円
- 個人住民税の寄付金税金控除・・・
{寄付金額（年間所得の30%を限度とする）－2,000円}×10/100

法人からの寄付

株式会社などの法人の場合は、寄付される金額について「全額損金」とすることができます。

平成22年度事業報告、

決算報告書（抜粋）

去る23年5月20日(金)社会福祉協議会理事会、5月27日(金)社会福祉協議会評議員会が開催され、平成22年度の事業報告と決算報告が承認されました。尚、平成22年度の事業報告、財産目録、資金収支計算書、貸借対照表は社会福祉協議会にて公開しておりますので、閲覧希望の方は、当会までお申出下さい。

「平成22年度会員募集加入報告」

区分	加入数	金額	加入率
一般・賛助	4,777件	2,448,000円	64%
法人会員	84件	546,000円	
その他	町外等	7,000円	
合計		3,001,000円	

「理事会評議員会開催について」

「理事会」

第1回 平成22年5月19日開催

第2回 8月25日開催

第3回 10月28日開催

第4回 平成23年3月17日開催

「評議員会」

第1回 平成22年5月26日開催

第2回 平成23年3月29日開催



「広報活動について」

・「おおぐち社協だより」を4月、7月、10月、1月の計4回発行

・ホームページを開設し、常時社協事業等の内容を公表するとともに、事業への参加及び協力の働きかけを図りました

「ボランティア関連について」

「社協ボランティアセンターへの

ボランティア登録者数」

ボランティア活動保険加入者数

団体数 49団体 個人 3名
総数 993名

内訳 男性 347名

女性 646名

「ボランティア養成講座実施報告」

・レクリエーションボランティア講座

・災害救援ボランティアコーディネーター養成講座

「ボランティア派遣状況」

・障がい者(個人・団体)、福祉実践教室(福祉授業)、町事業(体育祭・防災訓練・各種講演会)、社協事業(障がい者スポーツ大会、ふくしわくわくランド、福祉のつどい)、各地区主催防災訓練

・西尾張ブロック16市町村社会福祉協議会による「平成22年度西尾張ブロックボランティアアフェスティバル」を、高めよう地域力つなげて広げて支えあつゝをテーマに1月30日(日)岩倉市総合体育文化センターと岩倉市ふれあいセンターの2会場において開催しました。

大町町ボランティア連絡協議会・大町町ボランティアセンター運営委員会合同研修会が平成23年1月14日、災害についての見識を深めるために「陸上自衛隊春日井駐屯地」の施設見学し、午後から春日井市災害ボランティアア

デイネーター連絡会と防災についての意見交換を実施しました。

◎ボランティア連絡協議会主催「夏休みボランティアサークル開放」、

◎「大口中学校JVC事業の支援」



「児童福祉について」

◎子育て支援サークルの活動支援

◎「おおぐち」病院 おおぐちの活動支援

◎夏休み親子福祉教室を開催

◎福祉実践教室及び体験教室を実施し、福祉教育を推進



「高齢者福祉について」

◎長寿を祝い「高齢者肖像事業」を実施し記念写真を贈呈

◎単身・高齢者世帯に対し大口町水彩画クラブ、民生委員の協力により「おせち料理」配布事業を実施

◎「敬老の日」に80歳以上の在宅高齢者及び入所施設利用者へお祝い品の贈呈

◎「敬老の日」に町内高齢者施設にて実施する敬老会に社協会長が出席し祝い品を贈呈

◎大口町高齢者軽度生活援助事業、大口町生きがい活動支援通所事業の受託
◎介護保険3事業所の経営

「母子父子福祉事業について」

◎ひとり親家庭日帰り旅行を開催

◎小学校、中学校入学のひとり親家庭を対象にお祝い金を贈りました。

◎母子家庭等に対する「就業業相談日」を開設

「心身障がい児者福祉について」

◎視覚障がいをお持ちの方へ、CD・カセットテープを利用した「声の広報」、点訳サービス及びバリアフリー化支援ソフトを使用し、ホームページにより福祉情報を発信

◎重度身体障がい者日帰り旅行の実施
◎在宅重度障がい児者支援事業の実施

◎大口おもちゃ図書館の設置

◎第26回障がい者スポーツ大会の開催



「共同募金事業について」

10月1日より12月31日までの間、各区・法人のみなさまのご協力により共同募金事業を実施しました。

「福祉関連事業について」

◎総合福祉相談事業として窓口常設

◎心配ごと相談所を毎月4回水曜日開設

◎各種貸付事業の実施
◎器具の貸出し（わたがし機、ポップコーン機、松葉杖、福祉車両、車いす等）

◎福祉関係団体の育成・助成

大口町身体障害者福祉協会、心身障害児（者）親の会、更生保護女性会、母子寡婦福祉会、保護司会、遺族会、尾北地区聴覚障害者福祉協会、尾北精神障害者家族会

平成23年度

社会福祉協議会会員加入に

ご協力ありがとうございました

町内のみなさま、日ごろは社会福祉協議会の運営全般にわたりご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度の会員募集につきましては、一般会員・賛助会員・法人会員のみなさまのご賛同をいただき誠にありがとうございました。

今後とも趣旨をご理解いただき活動へのご協力をお願いいたします。

書意だより

ご寄付ありがとうございます

社会福祉に役立ててほしいと大口町社会福祉協議会にまたたかい寄付が寄せられました。

厚く御礼申し上げます。ご報告いたします。 順不同

（6月10日～8月4日お取扱い分）
安藤光明様
ゆーきキルトランド様

金30,000円
匿名希望様

車イス3台、歩行器1台、
シルバーカー1台

（株）東海理化様

東海理化労働組合様

東海理化部次長会・東海理化課長会様
テント1張



東海理化 河川取締役様(左1)、東海理化労組 佐々木執行委員長様(右1)より目録を受け取る、舟橋会長(左2)、おおぐち福祉会江口理事長代理(右2)

「指定寄付」

東日本大震災支援活動拠点運営事業
大口町職員組合様

金50,000円

町民有志一同様

金55,491円

大口絆つなぐネット有志一同様

金29,730円

匿名希望一同様

16件
金536,850円

大口町社会福祉協議会有志一同様

金41,128円

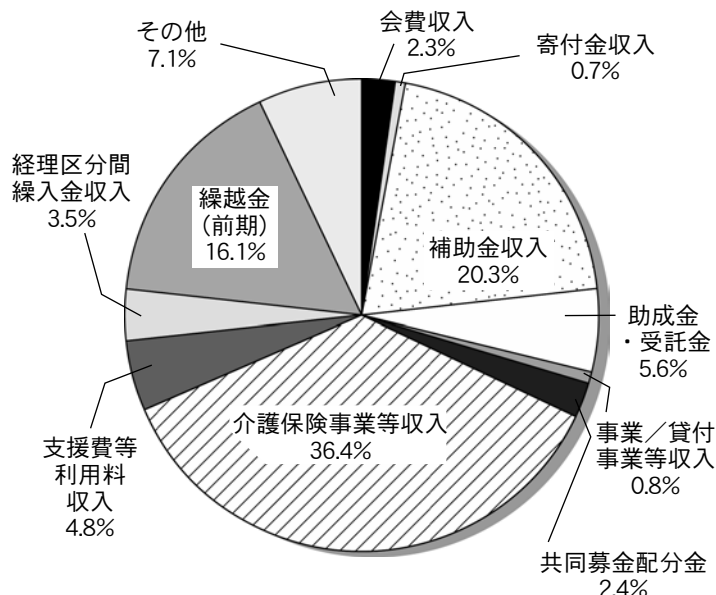
東日本大震災復興支援事業
町民活動まかせてネット様

金200,000円

平成22年度 大口町社会福祉協議会決算報告書

去る23年5月20日（金）に社会福祉協議会理事会、5月27日（金）に評議員会が開催され、22年度事業報告と決算が承認されましたのでご報告します。

*事業報告・資金収支計算書・貸借対照表・財産目録等関係書類を情報公開しております。
 閲覧希望の方は、事務局までお申し出下さい。

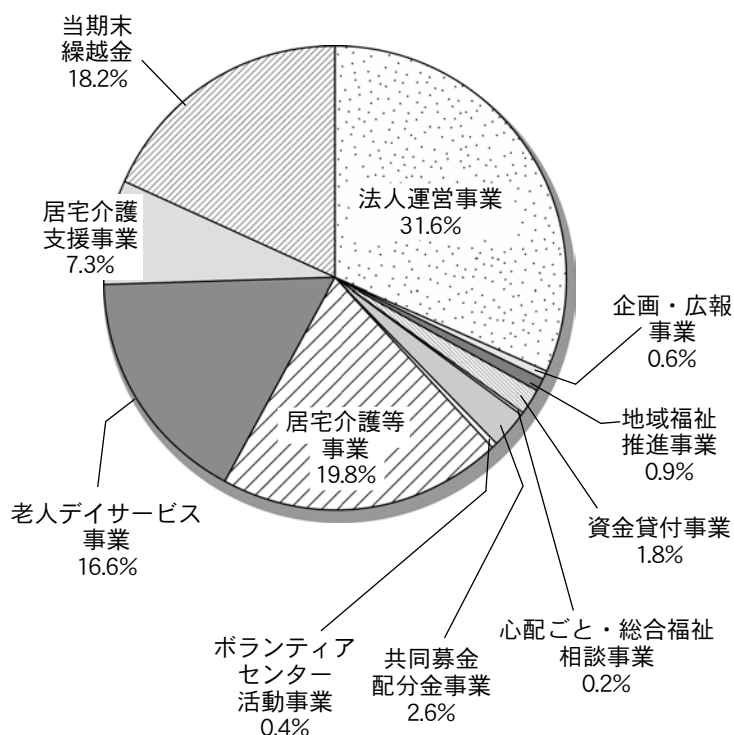


「収入」

	(円)	(%)
会費収入	3,001,000	2.3
寄付金収入	902,052	0.7
補助金収入	26,759,466	20.3
助成金・受託金	7,448,123	5.6
事業/貸付事業等収入	1,041,500	0.8
共同募金配分金	3,176,856	2.4
介護保険事業等収入	48,123,399	36.4
支援費等利用料収入	6,363,475	4.8
経理区分間繰入金収入	4,601,270	3.5
繰越金(前期)	21,342,050	16.1
その他	9,357,055	7.1
収入合計	132,116,246	100.0

「支出」

	(円)	(%)
法人運営事業	41,750,138	31.6
企画・広報事業	747,576	0.6
地域福祉推進事業	1,205,829	0.9
資金貸付事業	2,380,332	1.8
心配ごと・総合福祉相談事業	215,945	0.2
共同募金配分金事業	3,429,313	2.6
ボランティアセンター活動事業	566,663	0.4
居宅介護等事業	26,222,774	19.8
老人デイサービス事業	21,886,638	16.6
居宅介護支援事業	9,715,676	7.3
当期末繰越金	23,995,362	18.2
支出合計	132,116,246	100.0





大口子育て情報 ぎゅっと

【編集】特定非営利活動法人
「まみーぼけっと」

【HP】
<http://www.geocities.jp/mammypocket/newpage1.htm>

まみー
ぼけっと

スポーツの秋

節電の夏が終わり、ずいぶん
と過ごしやすくなって来ました。
なにか体を動かしたくなります
ね。

子育て情報誌「ぎゅっと」冊
子版に掲載されているスポーツ

空 手

～郷英館空手道～（幼児クラス）

場 所 扶桑町総合体育館
日 時 毎週土曜日 13:00～14:00 **対 象** 幼児（年少～年中）
参加費 2,100円／1か月 保険代として別途 1,150円／1年必要
連絡先 0587-93-5768（宮川さん）
活動内容

空手道の動きを取り入れた基礎体力作りを始め、初歩的な技
術練習、集団行動を身につける事を目的としたクラスです。

HPアドレス www.kyoeikan.com

親子リズムたんぽぽ

場 所 江南市民文化会館 等
日 時 毎週金曜日 10:00～12:00
対 象 未就園児
参加費 2,000円／1か月
連絡先 0587-53-3914（青山さん）
活動内容

ピアノに合わせて、色んな動物のまねっこを
したり、みんなで追いかけてっこをします。
マット遊びも取り入れています。

親 子 体 操

場 所 犬山市体育館
日 時 月2回の土曜日（不定）
9:30～12:00の中で 3コース
対 象 未就園児～小学3年生の親子
参加費 2,500円／1か月
連絡先 0568-62-9775（山崎さん）
活動内容

体操や集団行動を通して、規律やけじめを幼
児期から学ぶ事が目的です。

サッカークラブ

～ウィル大口スポーツクラブ～

場 所 大口町総合運動場
日 時 詳細はお問い合わせください
対 象 年少～高校生
参加費 3,500円／1か月
連絡先 0587-95-9033（ウィル大口スポーツ
クラブ）
活動内容

サッカーを通じてスポーツの楽しさを知り、
団体スポーツの中から、友情とチームワークの
大切さやチャレンジする勇気を学び、サッカー
を一生の友とするために楽しく活動しています。

水 泳

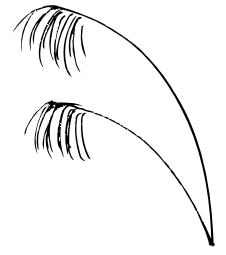
～ウィル大口スポーツクラブ～

場 所 大口町温水プール
日 時 詳細はお問い合わせください
対 象 年少～大人
参加費 3,400円～／1か月
連絡先 0587-95-1313（温水プール）
活動内容

水慣れ～個人メドレーを正しく完泳することや、
水泳を通して健康維持、体力増進を図ることを
目的としています。

◎ウィル大口スポーツクラブは、他にもいろいろな
スポーツの教室・講座を行っています。

ボランティア 情報局



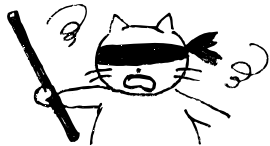
ボランティアのコラボで支える ～子ども会キャンプ～

7月22日午後3時より翌朝まで大口町ふれあいの森で行われた下小口子ども会キャンプを取材しました。

下小口子ども会の会員数（小学校1年生から6年生まで）199名恒例となっているキャンプには高学年95名が参加しました。

スケジュール
飯ごう炊飯
スイカ割り
キャンプファイヤー
きもだめし

子どもたちは飯ごうでご飯を炊きカレーを作ります。その後のお楽しみスイカ割り～。



大盛り上がりのスイカ割り～

カレーの材料の野菜は地域の団体からの提供、子どもたちと一緒に食後の後片付けを手伝ってくれたのは、前年度役員のお母さん方です。



初めて見る子どもたちも・・・

火の神に扮した下小口区長が入場してキャンプファイヤーの始まりです～。



キャンプファイヤーは、江南短大の学生ボランティア、町内ボランティア、役場地域振興課の方の協力を得て行われました。



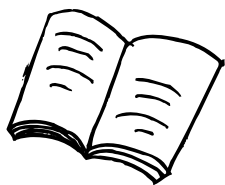
下小口子ども会会長は・・・

「キャンプが今も続いている理由は、もちろん子どもたちの笑顔があるからですが、沢山のボランティアさんや地域の方々の協力があったからではないでしょうか。」と

そして、ボランティアとして参加された方は・・・

「学校行事でもなかなか飯ごう炊飯を体験できない時代に、地元で体験できる子どもたちは恵まれています。これからも子ども会の行事として続けてほしい」そんな思いからの参加だったようでした。

手話サークルほほえみ



手話サークルほほえみは、20代から60代までの幅広い年齢層25名で活動。その内容は、学校での福祉実践教室や町の行事への参加はもちろんのこと、各メンバーのスキルアップのために、今年で6年目をむかえる手話検定にもチャレンジしている。

聴覚障がいの方とのコミュニケーション方法は、筆談、空書、口話、指文字、身ぶり、手話がある。手話は、その方法の中のひとつで、より多くの方に手話を知ってほしいという願いから、手話検定ができる。昨年、メンバーは、5級、4級、3級にチャレンジし、受験者全て合格。今年は、さらに上級を目指して、勉強中。



10月の検定を目前にビデオ学習中



技術だけではなく、サークルに参加される聴こえない方の体験を聞き、その方の感じ方や生きてきた背景を知り、そのうえでコミュニケーションがとれたら・・・と思う。できれば、聴こえない方の理解をし、住みやすい社会にするため、すこしでもお手伝いができれば・・・と、ひかえめに話すメンバー。



毎週木曜日 19時～20時45分健康文化センター ボランティア室で活動。「手話ってなに？」って思ったら、気軽にのぞいてください～。待ってま～す。



☆☆☆ 第45回全国ろうあ者体育大会 inあいち ☆☆☆

9月16日から18日まで全国からたくさんの選手がここ愛知に集まり熱戦をくりひろげる。この大会に、ほほえみのメンバーからバレーボールの選手として2人出場。また、稲沢でおこなわれたボート競技には、ボランティアとして参加。

■編集後記■ 取材・作成 / 編集ボランティア OZ

子供の頃読んだ本を久し振りに読んでみました。本の題名は「オズの魔法使い」童巻でオズの国へ飛ばされたドロシーが、かかし、ブリキのきこり、臆病なライオンと協力して様々な困難を乗り越えて故郷に戻っていく、美しいオズの国エメラルドの都よりも故郷が大切な場所なのだと伝えてくれます。東日本大震災で被害にあわれた方が少しでも早く元に近い生活に戻れる事を願って、大切な故郷に戻れる日をささやかにいつまでも応援し続けたいと思う。



『高齢難聴者の聞こえと分かりやすい話し方』 その1

周囲の人から理解されにくい高齢難聴者の痛み

人は誰もが30代から次第に聴力が低下し始め、聴力の老化が進んでいきます。一般に「聞こえなくなること」への関心は、「見えなくなること」に比べて薄く、聞こえの不自由さは、本人にとってはとても深刻なのに比べ、周りの人によく分かってもらえないというギャップがさらに当事者を苦しめることとなります。

「テレビの音が大きすぎるから一緒に見ない」

「声をかけても返事が



ないから余計な話はしない」

「要件や約束などを聞き違えて迷惑をかけてしまう」

「同じことを繰り返し尋ねられるので面倒だ」

「孫の声はよく聞こえるのに私の話は聞こえない振りをしているのではないか」など、聞こえの問題が、人間関係にまで影響を及ぼすこともあります。



高齢難聴者の聞こえ

音が小さく聞こえるのではなく、高い音域や子音（カ・サ・タ）が聞こえにくく、明瞭に聞き分けられない症状があります。全体的にこもり、ハンカチを口に押し当てたようなハッキリしない感じに聞こえるのです。

難聴の聞こえ（模式図）



次回はよりよく聞くための基本と分かりやすい話し方、聞こえの自己評価表を紹介いたします。

引用 月刊DAY Vol. 134 p49~51

社協トピックス

赤い羽根共同募金配分金事業
ひとり親家庭夏休み日帰り旅行

ユニバーサルスタジオ／ ジャパンに行ってきました

去る8月6日(土)早朝、「ひとり親家庭夏休み日帰り旅行」として、総勢44名の家族とともに大阪市ユニバーサル・スタジオ・ジャパンに出發しました。

今年は滞在時間を10分長く計画、暑い一日でしたが、時間内に多くのアトラクションやショーを体験することができました。さらに10周年ということで特別企画のウォーターサプライズもあり、驚きと感動の一日でした。

また、帰りのバスの車中では、ビンゴゲームで盛り上がりながら大口到着まで親子ともに元気ハツラツ楽しく過ごすごうことができました。

この旅行がすてきな夏休みの思い出となることと願い、また来年も楽しい企画を計画していきます。

大口町心身障害児(者)親の会

「変身して遊ぼう会」を 開催しました!

毎年、大口町心身障がい児(者)親の会学齢部では、子供達が夏休みを楽しく過ごしていただけるように色々なイベントを企画し、実行しています。

8月17日(水)のイベントは、この夏三回目の活動になります。親の会学齢の皆さん、町内の小学校の支援学級の皆さん、養護学校の皆さんで行いました。

初めに、ビニール袋を服に見立て、ひもやテープなどで、とてもかわいく素敵に変身できました。

後で、お菓子作り、ボール投げ、障害物くぐりをして楽しく遊びました。

皆さんお菓子やおもちゃをもらうことができ、とても楽しそうでした。夏休みの楽しい思い出の一つとなってくれたらうれしいです。



社協伝言板

受講生募集!

傾聴ボランティア講座

講座を通して傾聴について知識を習得し、生活面でのコミュニケーションの促進、また地域で傾聴活動を行ってみませんか?

開催日時

1日目 平成23年10月17日(月)

午後1時30分から午後4時30分

2日目

平成23年10月29日(月)

午後1時15分から午後4時30分

開催場所

健康文化センター1階
多目的室及び町内福祉施設

募集人数

15名
(定員になり次第締め切ります)

受講料

5000円

申込み

10月3日(月)
午前9時から

お問い合わせ先

大口町社会福祉協議会
電話94-0060

要約筆記講座

耳が不自由な方へ文字を使用して、情報を伝えるお手伝い技術の習得してませんか?

開催日

平成24年

1月16日・23日・30日

2月6日・13日・20日・27日

3月5日・12日・19日

全月曜日 10回

開催時間

午前10時〜12時

開催場所

健康文化センター4階
ふれあい2

募集人数

20名
(定員になり次第締め切ります)

テキスト代

1,000円

申込み

10月3日(月)
午前9時より

お問い合わせ先

大口町社会福祉協議会
電話94-0060



重度身体障がい者日帰り旅行

参加者募集!

今年も重度身体障がい者日帰り旅行を開催します。

今回は、おいしい食事と彦根散策で秋を満喫してみませんか!!

開催日 ■平成23年10月31日(月)
行き先 ■長浜と近江路
対象 ■身体障害者手帳1・2級をお持ちの方と介助者

(内部疾患の方は除きます)

交通手段 ■大型リフト付き観光バス

(※車いすを利用の方も安心して
お出掛けいただけます)

募集人数 ■30名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 ■2,000円

申込み ■10月3日(月)
午前9時から

お問合せ申し込み先は

大口町社会福祉協議会

電話94-0060

社会福祉協議会

研修会を開催

去る平成23年8月26日(金)に、研修会を開催しました。平成23年5月末から6月末までの1ヶ月間実施した「東日本大震災支援活動拠点運営事業」について被災地の現状やボランティア活動を中心に報告しました。



第23回大口町福祉のつどい

来る11月19日(土)午前10時、大口町健康文化センター4階ほほえみホールで「第23回大口町福祉のつどい」を開催いたします。福祉事業功労者、家庭介護者をはじめとする顕彰と金婚ご夫妻への表彰などを行います。式典終了後アフトラクションを予定しております。詳しくは広報おおぐち11月号でお知らせいたします。

障がい者能力活用支援事業

車いすシエフの料理教室 ② ③

申し込み開始します!

前回、好評をいただきました、イタリア・スペインで4年間の修行生活を過ごしたシエフによるイタリア料理教室続編を開催します。

10/29(木)

車いすシエフの

楽しい休日の

おもてなし料理

ご友人やご家族を招いて、自宅がレストランになってしまふような休日を過ごしてみませんか?みんなで楽しい1日を過ごさせる料理を車いすシエフが提案します。

- 開催日 10月29日(土)
- 開催時間 午前9時から午後1時
- 開催場所 健康文化センター1階 栄養指導室・栄養実習室
- 受講料 1,000円
- 定員 20名
- 申込期間 10月3日(月)から
- その他 エプロン・筆記用具を
ご持参ください。

12/10(木)

車椅子シエフの

ケーキと心温まる

クリスマス料理

肌寒くなる12月に料理で心温まりその後、心躍るようなケーキをご友人やご家族で食べてみませんか?そんな1日を送れるような料理教室を開きます。

- 開催日 12月10日(土)
- 開催時間 午前9時から午後1時
- 開催場所 健康文化センター1階 栄養指導室・栄養実習室
- 受講料 1,000円
- 定員 20名
- 申込期間 10月3日(月)から
- その他 エプロン・筆記用具を
ご持参ください。

※いずれも申込み先は

大口町社会福祉協議会

電話94-0060